

小山地区民有林直轄治山事業について

計画保全部 治山課

地域と、富士霊園・県道等を保全対象とし、溪間工による溪床の安定と山腹の荒廃の復旧に向けた山腹工を行う北郷地域の2地域で事業を行うこととしています。(図①)

静岡県駿東郡小山町北部の山地は、富士山の火山噴出物(スコリア)が厚く堆積した固結度の低い土壌に覆われているため浸食されやすい性質です。

このため、平成22年9月には台風9号に伴う豪雨(小山町で日最大24時間降水量490ミリ、最大1時間降水量118ミリを記録)、平成24年・25年の集中豪雨等により崩壊地が著しく拡大し、流出する土砂によ

る大きな被害が発生しました。

(写真①)

現在も大量の不安定な土砂が溪流内に堆積している状況であり、降雨の度に浸食が急速に拡大しやすく、土壌養分も少ないため森林の再生が容易でないスコリア土壌であることから、崩壊地の拡大及び大量の不安定土砂の流出が続き、被害を与え続けています。(写真②)

このため、当該地域の流域保全に對して静岡県等からの要望が急速に高まり、国土保全部で、スコリア土壌を踏まえた高度な技術を要し、事業規模も大きいことから、国直轄による民有林直轄治山事業として実施することになりました。

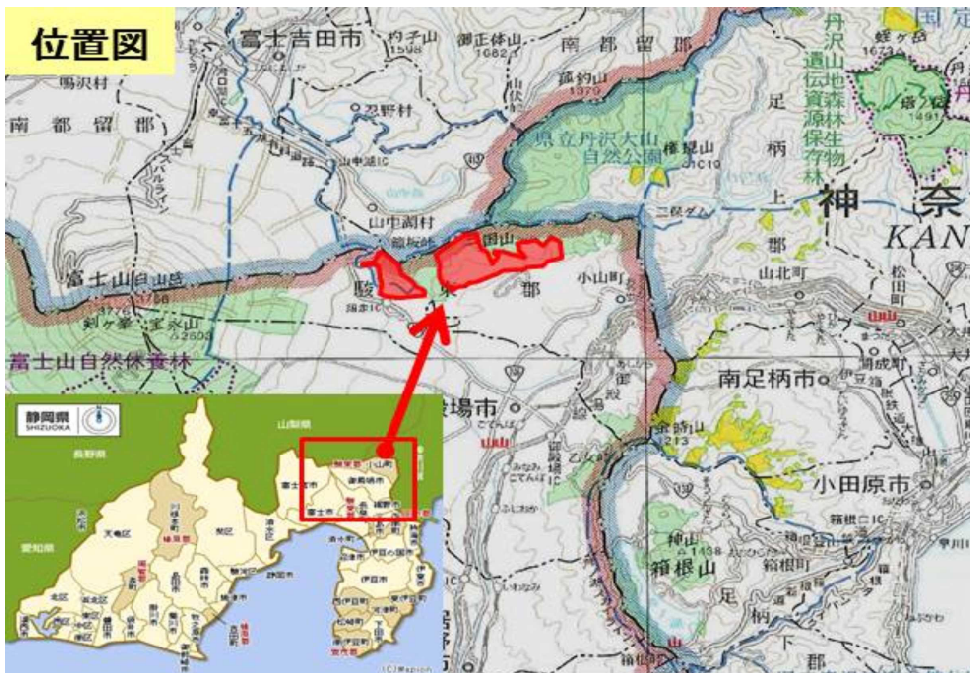


写真①拡大する崩壊地



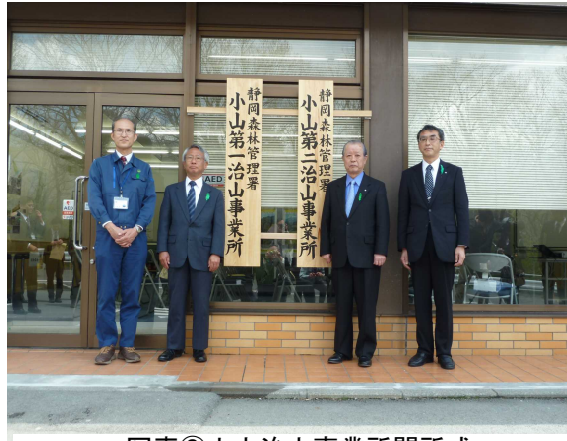
写真②流出土砂に埋もれた家屋

この小山地区民有林直轄治山事業は平成27年度から10年間、予算70億円という全体計画で、国道138号線・須走集落等を保全の対象とし、上流の山腹崩壊対策を主とする須走



図①

事業の実行は、静岡森林管理署の出先として小山第一・第二治山事業所を小山町内（須走ICから5分程度138号線沿い）に設置して実行にあたっていきます。（写真③）



写真③小山治山事業所開所式

事業実行初年度である平成27年度は、須走地域1箇所（立山5・山腹工）北郷地域2箇所（角取山1・溪間工、角取山7・溪間工・山腹工）の計3箇所について、工事費約2億円で事業を実施しました。（写真④写真⑤）



写真⑤施工後 北郷地域（角取山1）



写真④施工前 北郷地域（角取山1）



写真⑦北郷地域（角取山1）



写真⑥須走地域（立山5）

平成28年度については須走地域で2箇所（継続1、新規1）、北郷地域で4箇所（継続2、新規2）の合計6箇所、工事費約4・2億円を計画しています。（写真⑥写真⑦）

今月の表紙

海岸防災林薬剤散布事業

千葉県銚子市の君ヶ浜は、夏には大勢の海水浴客で賑わいます。

君ヶ浜国有林は、保健保安林、水郷筑波国定公園に指定され、林内に整備された遊歩道は市民や観光客の憩いの場として利用されています。また、犬吠埼一带の海岸防災林であり、防風及び潮害防備保安林に指定され、背後に広がる住宅や農地を強風や潮害から守る役割を担っています。

千葉森林管理事務所では、この貴重な海岸防災林のクロマツを松くい虫から守るため、薬剤散布を実施し環境保全に取り組んでいます。

